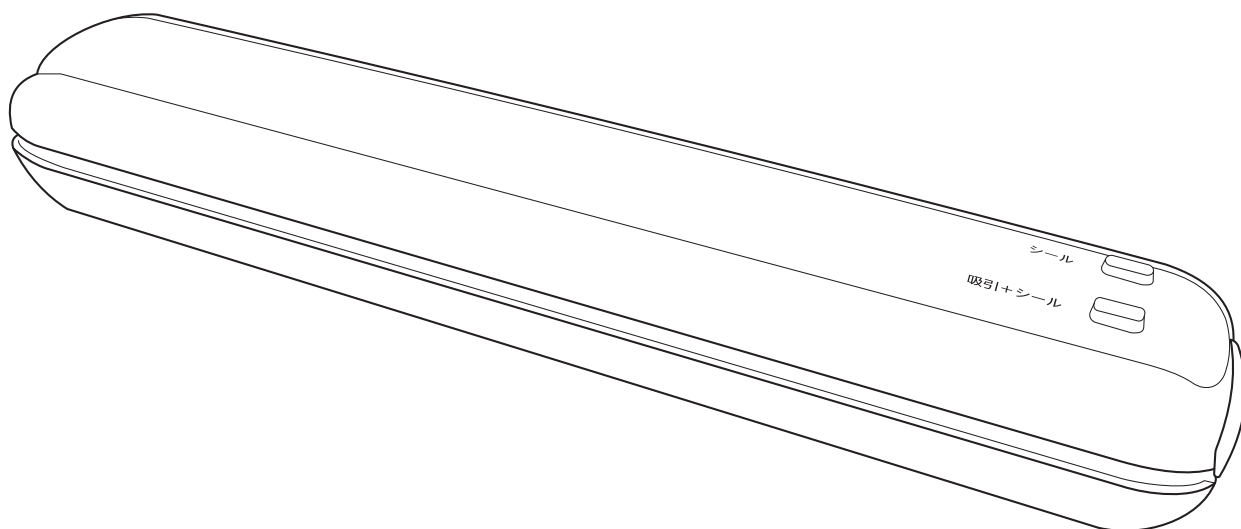


Fresh Plan

真空シーラー「フレッシュプラン」

品番 VS-102



本製品は日本国内用に設計されておりますので、国外での使用はできません。(FOR USE IN JAPAN ONLY)

取扱説明書 保証書付

このたびは、当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書を最後まで必ずお読みいただき、正しく安全にご使用ください。お読みになった後は、いつでも見られるよう大切に保管してください。

目次

真空シーラーの用途	1
安全上のご注意	2～4
ご使用上の注意	5
各部の名称	6
ご使用方法	7～10
別売品について	11
お手入れ方法	12
故障かな?と思ったら	13
アフターサービスについて	14
仕様	14
保証書	裏表紙

※本書に記載されているイラストはイメージです。

真空シーラーの用途

真空シーラーは袋の中の空気を吸引し密封することによって、食品や生活用品などを上手に保存するものです。

■食品の保存

- まとめ買い、または残った食品などを吸引・密封し、冷蔵庫や冷凍庫で保存する際に便利です。
- 付属の保存袋の他、別売のロールフィルム・キャニスター(ガラス容器)もごございますので、用途に合わせてご利用ください。

■食品以外の保存

- 食品以外のものも吸引・密封することにより、湿気や汚れ、酸化や腐食、虫などから守ることもできます。

■持ち運び

- 吸引・密封することにより、アウトドアなどのレジャーの際、食品の持ち運びに便利です。

※空気を抜いて密封したからといって食材の消費・賞味期限が延びるわけではありません。

「いつまでも大丈夫」と過信しないでください。

※本製品には殺菌・抗菌作用はありません。

※本製品での吸引・密封は、JIS 規格における真空「通常の大気圧より低い圧力の気体で満たされた空間内の状態」のことです。

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
以下の警告マークを表示している事項はいずれも安全に関する重要な内容です。
必ずお守りください。

警告マークの種類	警告マークの内容
 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
 注意	人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容

図記号の例

 禁止	してはいけない内容	 指示	実行しなければならない内容
---	-----------	---	---------------

 警 告	
 禁止	<電源プラグ・コードについて> ●電源プラグ・コードを傷つけない、引っぱらない、無理に曲げない、ねじらない、束ねない、はさみ込まない、重いものをのせない、加工しない、本体で押し付けない。 発熱・火災・感電の原因になります。 ●コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 ●コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。 ●電源プラグ・コードを水につけたり、水をかけたりしない。また、ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電・ショート・発火・けがの原因になります。 ●電源プラグ・コードを熱器具に近づけない。 火災・感電の原因になります。 ●コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外で使用しない。 たこ足配線などで定格を超えるとコンセント部が発熱し、火災や故障の原因になります。 <お取扱いについて> ●絶対に分解・修理・改造をしない。 発火・感電・けがの原因になります。 ●本体を水につけたり、水をかけたりしない。 内部の電気部品に水が入り、ショートや感電の原因になります。 ●不安定な場所や熱に弱いもの（ビニールマットなど）の上や可燃物（カーテンなど）の近くで使用しない。 火災の原因になります。 ●小さな子供だけで使用させない。また、子供や乳幼児のそばで使用したり、手の届くところに置かない。 ●自分で操作できない人や、補助を必要とする人、取扱いに不慣れな人だけで使用させない。 感電・けがの原因になります。 ●開口部やすき間にピンや針金、金属物などの異物を入れない。 感電や異常動作してけがをする原因になります。 ●保存袋・ロールフィルムに熱いものを入れない。 やけどの原因になります。 ●別売のキャニスターを吸引するとき以外は、キャニスター専用ホースを接続して吸引しない。 けがの原因になります。



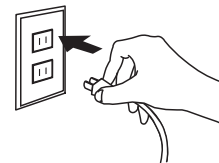
警告



指示

< 電源プラグ・コードについて >

- 電源プラグのほこりなどを定期的に乾いた布で取り除く。
また、使用後やお手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜く。
けがややけど、絶縁劣化などによる感電や漏電火災の原因になります。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。
感電・発熱・故障などの原因になります。
- 使用中、電源プラグやコードが異常に熱くなるときは、ただちに使用を中止する。



注意



禁止

< お取扱いについて >

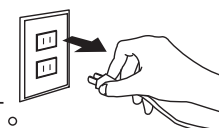
- 本体の上に物を置いたり、下の隙間に物を入れて使用しない。
本体や物の変形、変質するなどして火災や故障の原因になります。
- 落としたりぶつけたり、強い衝撃や振動を与えない。
本体に強い衝撃や振動を与えないでください。火災の原因になります。
- 水のかかる所や火気の近くに設置しない。
感電、漏電、火災の原因になります。
- 吸引・シールまたは密封(シール)した保存物はオープンで使用しない。また保存袋・ロールフィルムは火のそばに置かない。
保存袋・ロールフィルムが発火する原因になります。
- 使用直後は本体のシールヒーター・シールラバー、袋のシール部に触れない。
やけどの原因になります。



指示

< 電源プラグ・コードについて >

- 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜く。
コードを引っばると、破損して、感電・ショート・火災の原因になります。
- 使用時以外は電源プラグを抜く。
感電や漏電火災の原因になります。



< 別売品について >

- 保存袋、ロールフィルム、キャニスターは、11 ページに記載の製品を使用する。



注 意



指示

< お取り扱いについて >

●お手入れは本体が冷えてから行う。

本体（シールヒーター）が冷えたことを確認してからお手入れをしてください。やけどのおそれがあります。

●破損した際は、けがをしないよう十分注意する。

廃棄する際は、お住まいの自治体の指示に従い分別してください。

●異臭・発熱・変形・変色など、今までと異なることに気がついたときは使用を中止する。

発熱・発煙・発火の原因になります。

ご使用上の注意

⚠水分に注意！

- 真空シーラーは、非常に吸引力が強いのでわずかな水分も吸い込みます。
保存袋・ロールフィルムで水分を含むものをそのまま吸引すると、吸引口などから本体内部に水分が入り故障の原因となります。水分を含む食品や汁ものは冷凍してから吸引・密封するか、別売のキャニスターを使用してください。

⚠汚れに注意！

- ご使用後は、必ずお手入れする。
吸引溝、吸引口、シールヒーターに汚れが付着したまま使用すると故障の原因になります。ご使用後は必ずお手入れを行ってください。特に水分はきれいに拭き取ってください。

⚠保管方法に注意！

- 保管時は、ふたをロックしない。
ふたをロックしたまま保管すると、内部の密封スポンジなどが変形し、吸引や密封ができなくなることがあります。

⚠操作に注意！

- 必ずふたをロックしてから、電源プラグをコンセントに差し込む。
電源プラグをコンセントに差し込んでからふたをロックすると、誤って「シール」ボタンや「吸引+シール」ボタンを押してしまうことがあります。

保存袋・ロールフィルムをご使用の場合

肉・魚の保存

- 肉・魚を密封する場合はペーパータオルなどで包み、水分を十分吸収させるか、冷凍してから吸引・密封する。
- 魚は内臓を取り除く。
- 調理前のハンバーグやギョーザなどはラップに包んでから吸引・密封する。

野菜や果物の保存

- ブロッコリー、とうもろこし、グリーンアスパラなどは新鮮なうちに一度茹で、冷ました後ペーパータオルなどで水分を吸収させてから吸引・密封する。
- レモンやパイナップルなどはスライスし吸引・密封する。
- リンゴなどは皮をむいてから吸引・密封する。
- ※野菜や果物は呼吸をしており、ガスが発生します。調理をしていない状態で吸引・密封すると、しばらくして袋がふくらんでしまいますので、調理をしてから吸引・密封し冷蔵庫や冷凍庫で保存してください。
- ※白菜などの野菜や漬けものなどの水分が多い食品は吸引せずに密封してください。

液状食品の保存

- カレー、シチューなどの調理物や液状食品はそのままでは吸引・密封できないので、あらかじめ冷凍してから吸引・密封するか、吸引せずに密封する。
- ※液状食品は吸引する際、食品や水分を吸い込んでしまうため吸引・密封には適していません。必ず冷凍してから吸引・密封するか、吸引せずに密封してください。

その他食品の保存

- カニ、エビなど角がとがった食品は、保存袋やロールフィルムに穴が開くのを防ぐのと水分を吸収させるため、ペーパータオルなどに包んでから吸引・密封する。
- 小麦粉やコーヒーなどの粉末状のものは、もとのパッケージごと吸引・密封する。
- ※キノコ類、パン、スナック菓子などの型くずれしやすい食品は吸引せずに密封するか、手動吸引で状態を見ながら吸引後、密封してください。

食品以外の保存

- 角がとがったものは保存袋やロールフィルムがやぶれないよう、やわらかいもので包んでから吸引・密封する。
- 壊れやすいものは吸引しない。

吸引・密封した食品の解凍・調理

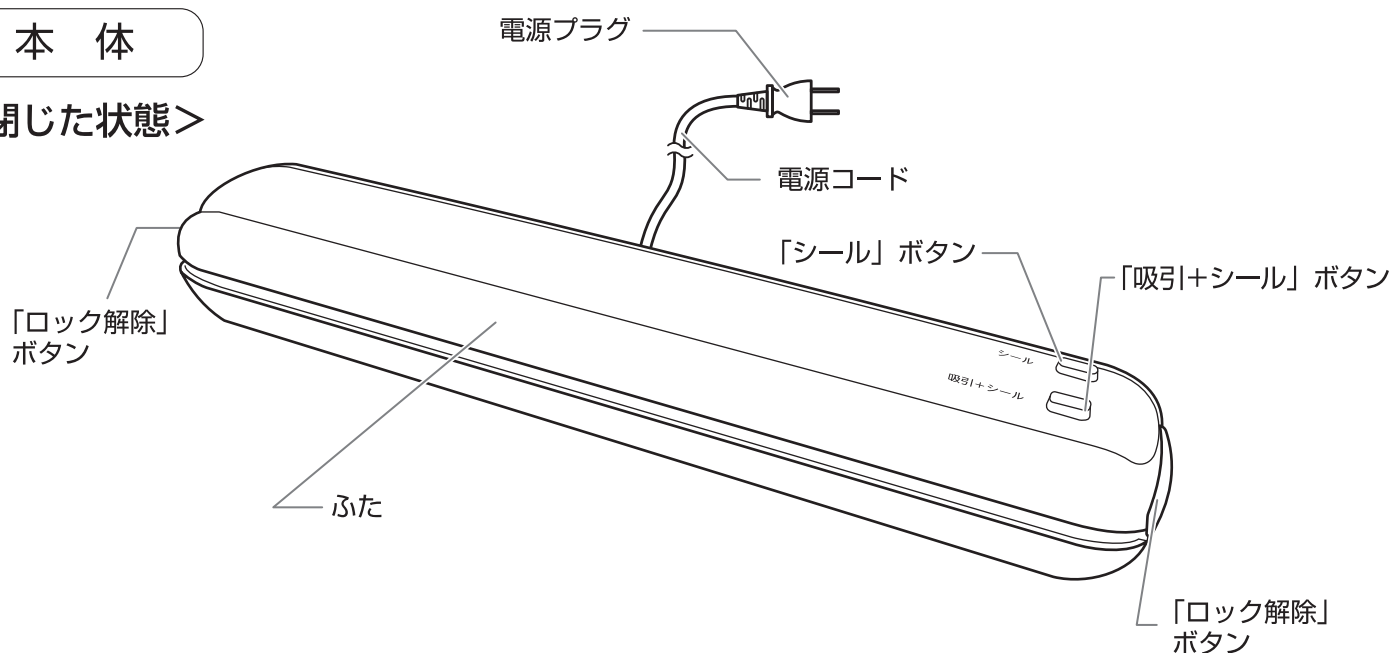
- 冷蔵庫、電子レンジ、湯せんなどで解凍・調理することができます。
- ※電子レンジで解凍・調理をする場合は袋の破裂を防ぐため、必ず袋の角を切り、空気の入りを自由にした後、深皿などに入れた状態で行ってください。
- ※油分の多い食品は袋から取り出し、別の容器に移し替えてから電子レンジで解凍や調理を行ってください。袋に入れたまま電子レンジにかけると、袋が溶けたり、発火したりすることがあります。

各部の名称

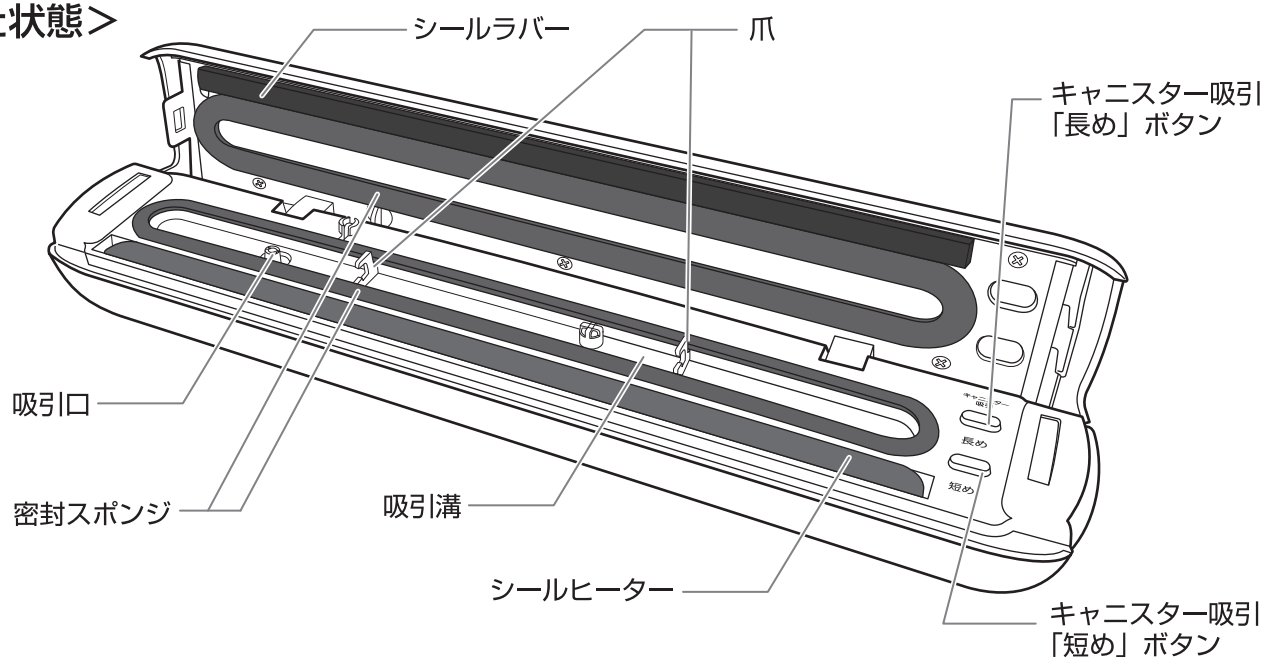
ご使用前にご確認ください。※  は付属品です。

本 体

<閉じた状態>



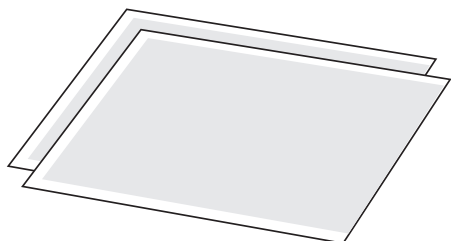
<開いた状態>



保 存 袋

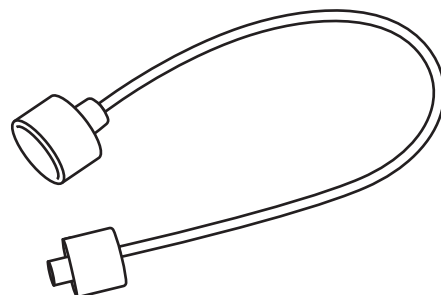
寸法：約幅 22cm×長さ 25cm
厚み 約 0.26mm

耐熱温度：100℃／耐冷温度：-20℃
枚数：10 枚



キャニスター専用ホース

※別売品のキャニスターを吸引する際に
使用します。
(袋の吸引には使用できません)



ご使用方法

吸引して密封する

■吸引から密封まで自動で行います。

1 付属の保存袋に保存するものを入れる。

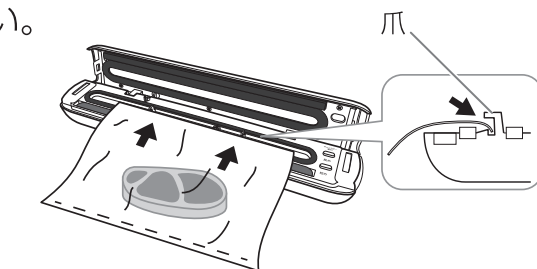
※ロールフィルムをご使用の場合は、保存するものを入れる前に、ロールフィルムの片側がしっかりとシールされているか確認してください。シール部にしわやゴミがあると吸引・シール後に空気が入ります。

※保存するものは、一度に大量に入れないでください。

※傷んでいる食品は保存しないでください。

2 袋の位置を合わせる。

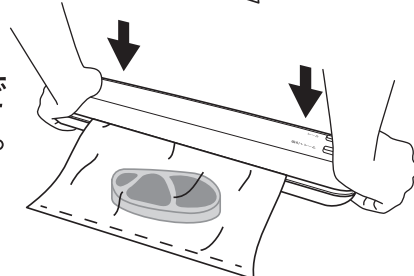
吸引溝の2か所の爪の下に、袋の開口部の端を差し込んでください。



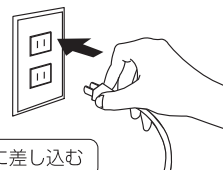
3 ふたを閉じて、右図のように本体の両端を両手で押さえ、「カチッ」と音がするまで強く押し込む。

●ふたは確実に閉じてください。

●ボタンを押さないようご注意ください。



4 電源プラグをコンセントに差し込む。 全てのボタンが点灯し、約2秒後に消灯します。



❗ 確実に差し込む

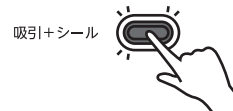
5 「吸引+シール」ボタンを押す。

※ボタンは奥までしっかり押し込んでください。

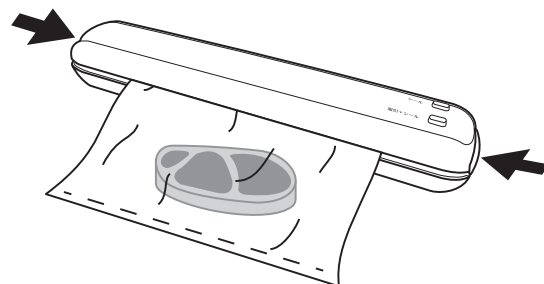
「吸引+シール」ボタンが点灯し、吸引が開始されます。

吸引が終了すると、シールが開始されます。「吸引+シール」ボタンが消灯したら、完了です。

※袋が大きすぎたり袋に穴が開いていたりすると、最大約50秒間吸引した後に作動を停止します。その場合には、適切なサイズで穴などが無い新しい袋に交換してやり直してください。



6 本体側面(2か所)の「ロック解除」ボタンを同時に図の矢印の方向へ押し込み、ふたを開けて袋を取り出す。



⚠ 注 意

- 使用直後は本体のシールヒーター・シールラバー、袋のシール部に触れない。
やけどの原因になります。

7 電源プラグをコンセントから抜く。

ご使用方法

吸引の途中で密封する（手動吸引）

- お好みの吸引具合で密封します。
- やわらかいものや型くずれしやすいものなど、吸引状態を調整したい場合などに使用します。

1 P8の「吸引して密封する：手順 1～4」を参照して、セットする。

2 「吸引＋シール」ボタンを押し続ける。
※ボタンは奥までしっかり押し込んでください。
約 2 秒後に「吸引＋シール」ボタンが点灯し、
吸引が開始されます。ボタンを押している間は
吸引し続けます。

シール 

吸引＋シール 

3 お好みの状態まで吸引されたら、「吸引＋シール」ボタンから指をはなす。

4 「シール」ボタンを押す。
※ボタンは奥までしっかり押し込んでください。
「シール」ボタンが点灯し、シールが開始されます。
「シール」ボタンが消灯したら、シール完了です。

シール 
吸引＋シール 

- 吸引を停止してそのままにしておくと、袋内に徐々に空気が入ります。吸引状態を保つために、早めに「シール」ボタンを押してください。

5 P8の「吸引して密封する：手順 6」を参照して、袋を取り出す。

6 電源プラグをコンセントから抜く。

⚠ 注 意

- 使用直後は本体のシールヒーター・シールラバー、袋のシール部に触れない。
やけどの原因になります。

吸引しないで密封する

- 吸引しないで密封のみします。

1 P8の「吸引して密封する：手順 1～4」を参照して、セットする。

2 「シール」ボタンを押す。
※ボタンは奥までしっかり押し込んでください。
「シール」ボタンが点灯し、シールが開始されます。
「シール」ボタンが消灯したら、シール完了です。

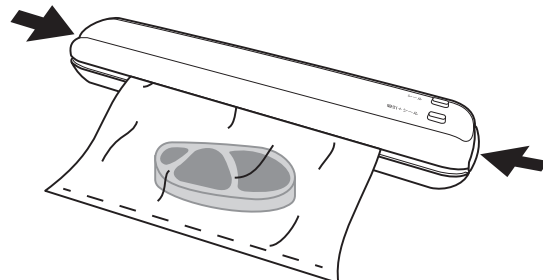
シール 
吸引＋シール 

3 P8の「吸引して密封する：手順 6」を参照して、袋を取り出す。

⚠ 注 意

- 使用直後は本体のシールヒーター・シールラバー、袋のシール部に触れない。
やけどの原因になります。

4 電源プラグをコンセントから抜く。



ご使用方法

別売りのロールフィルムを使用する

■別売のロールフィルムは、袋状にしてから吸引・密封します。

1 ハサミでロールフィルムを必要な長さに切る。

●保存するものの大きさより 6cm 以上余裕を取ってください。

※保存するものに厚みがある場合は、十分な余裕を取って切ってください。余裕が短いとシール部分にシワが入りやすくなります。

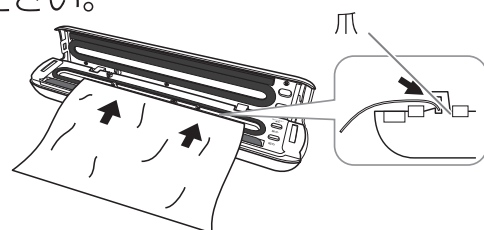
※切るときは、出来るだけまっすぐに切ってください。曲がっていたり斜めに切ったりするとシール不良の原因になります。

2 ふたを開ける。

※お買い上げ時には、スポンジを保護するために吸引溝に厚紙のストッパーが入っています。はずしてからご使用ください。

3 ロールフィルムの位置を合わせる。

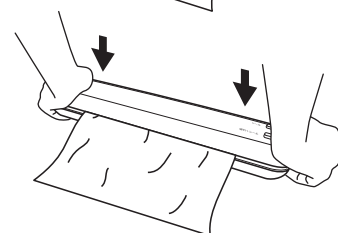
吸引溝の 2 か所の爪の下に、袋の開口部の端を差し込んでください。



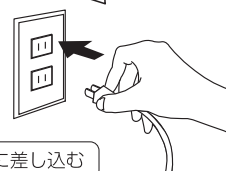
4 ふたを閉じて、右図のように本体の両端を両手で押さえ、「カチッ」と音がするまで強く押し込む。

●ふたは確実に閉じてください。

●ボタンを押さないようご注意ください。



5 電源プラグをコンセントに差し込む。 全てのボタンが点灯し、約 2 秒後に消灯します。



❗ 確実に差し込む

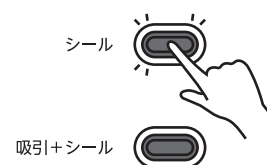
6 「シール」 ボタンを押す。

※ボタンは奥までしっかり押し込んでください。

「シール」 ボタンが点灯し、シールが開始されます。

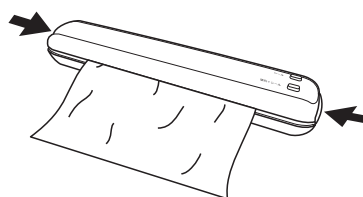
「シール」 ボタンが消灯したら、シール完了です。

※シールをしっかり密着させるため、シール終了前に自動で数秒間吸引します。そのため吸引の音がします。



7 本体側面 (2 か所) のロック解除ボタンを同時に図の矢印の方向へ押し込み、ふたを開けてロールフィルムを取り出す。

ロールフィルムの開口部がシールされ、袋状になります。



⚠ 注 意

●使用直後は本体のシールヒーター・シールラバー、袋のシール部に触れない。
やけどの原因になります。

8 電源プラグをコンセントから抜く。

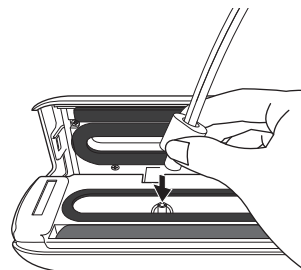
ご使用方法

別売の専用キャニスターを吸引・密封する

- 惣菜の作り置きや水分のある食材の保存におすすめします。
- キャニスター内の空気を吸引して、食材を新鮮に保存します。
- 付属品のホースを使用します。
- キャニスターの取扱説明書をよく読んでご使用ください。

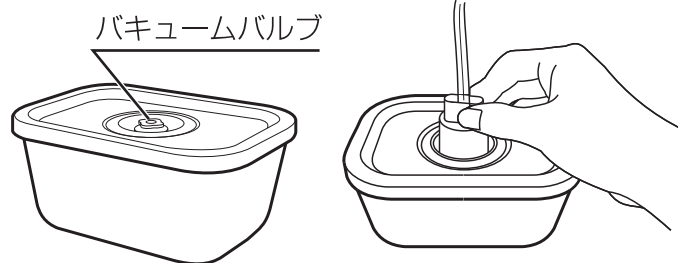
1 キャニスターに保存するものを入れ、ふたを閉める。

食材を入れすぎると正しく吸引できません。
ふちから約 2cm 空けて、食材や水分がふたやパッキンに触れないように入れてください。



2 本体のふたを開け、付属のホースの細い方を、吸引溝にある吸引口にしっかりと差し込む。

3 ホースの太い方を、キャニスターのふた中央のバキュームバルブの上にかぶせて、しっかりと押さえる。



4 本体のふたは開けたまま、「長め」ボタンもしくは「短め」ボタンを押す。ボタンが点灯し、吸引が開始されたらホースから指をはなす。ボタンが消灯したら、吸引完了です。

●吸引時間（約）

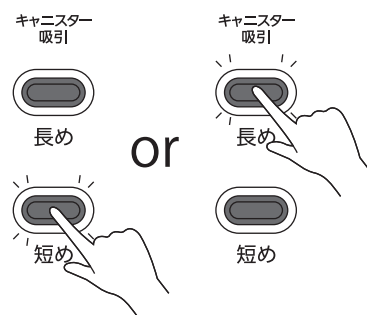
「長め」：35 秒 「短め」：18 秒

※キャニスターのサイズにより、使用するボタンが異なります。

・ L・M：「長め」

・ S：「短め」

※キャニスター L・M は「短め」では十分に吸引できません。



5 吸引が完了したら、ホースをキャニスターと本体から取りはずす。

●キャニスターのふたが密着して開けられない状態になっていれば、適切に密封されています。

●ふたが簡単に開いてしまう場合は、適切に密封がされていません。一旦ふたを開け、パッキンにねじれがないか、パッキンやバキュームバルブに食材や水分が付着していないかを確認してから吸引し直してください。

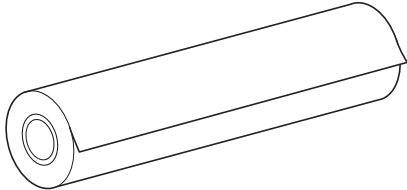
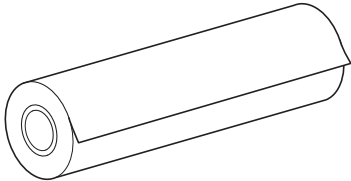
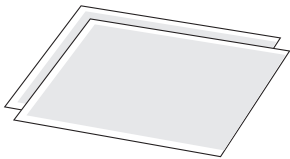
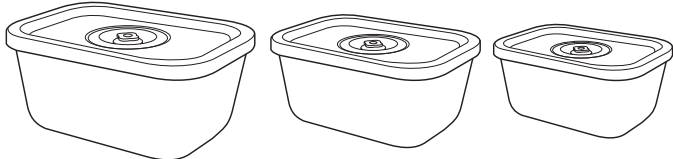
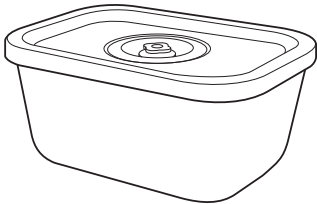
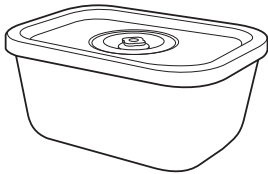
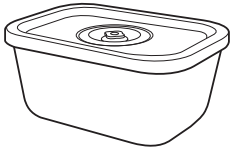
●密封したキャニスターのふたを開ける際には、バキュームバルブを軽く引っぱって密封を解除してから開けてください。

●ふたを開ける際には中身がこぼれないようご注意ください。

6 電源プラグをコンセントから抜く。

別売品について

●お買い上げの販売店または、弊社商品取扱店にて下記指定品番の製品をご購入ください。

品番：ZVS100WTRF1 ロールフィルム (約幅 28cm× 長さ 6.5m) 	品番：ZVS100WTRF2 ロールフィルム (約幅 20cm× 長さ 8m) 
品番：ZVS102CLRF 保存袋 (約幅 22cm× 長さ 25cm、50 枚入り) 	品番：ZVS102GL1 キャニスターセット 
品番：ZVS102GL2 キャニスター L (約1380ml) 	品番：ZVS102GL3 キャニスター M (約800ml) 
品番：ZVS102GL4 キャニスター S (約470ml) 	

お手入れ方法

⚠ 注 意

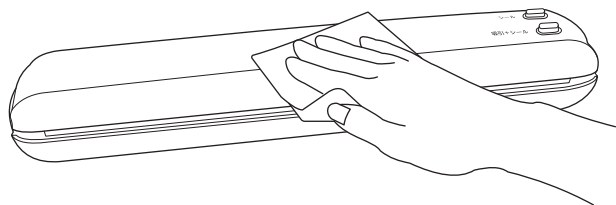
- 電源プラグをコンセントから抜き、本体（シールヒーター）が十分冷めてからお手入れをしてください。
- お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しないでください。製品の変質や劣化による破損・故障・けが・事故の原因になる場合があります。
- ご使用後は必ずお手入れをしてください。

本体・キャニスター専用ホース

頻度：汚れが気になったとき

1 湿らせて固くしぼった布で汚れを拭き取る。

汚れがひどい場合は、薄めた台所用中性洗剤を布などに含ませてかたく絞って拭き、その後洗剤を完全に拭き取ります。本体は水洗いできません。



2 乾いた布で水分を拭き取り、よく乾燥させる。

吸引溝・密封スポンジ・シールラバー

頻度：ご使用毎

1 ふたを開けた状態で、やわらかい布で水分や汚れを拭き取る。

■密封スポンジ・シールラバーについて

密封スポンジやシールラバーは、ご使用期間や頻度などにより劣化していきます。キズや損傷などがあると吸引や密封がうまくできません。密封スポンジ・シールラバーをご要望の場合は、ドリテックお客様相談センターにご相談ください。有償にて部品提供を承ります。

故障かな？と思ったら

こんなときは	原因	対策
作動しない	・電源プラグが抜けている ・電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない ・ボタンを奥まで押し込んでいない ・ふたが確実に閉まっていない	・電源プラグをコンセントの奥まで確実に差し込んでください。 ・ボタンは「カチッ」と音がするまでしっかり押し込んでください。 ・「カチッ」と音がするまでふたの両端を強く押さえてロックしてください。
吸引・シールがうまくできない	保存袋やロールフィルムのシール部分がシワになっている	たるみがないようセットし直してください。
	食品の水分や食品片がシール部分に付着している	シール部分の水分や汚れをきれいにふき取ってください。
	袋が小さすぎて保存物でいっぱいになっている	ロールフィルムで袋を作る際は、保存するものよりも 6cm 以上の余裕を持って長さを決めてください。
	保存するものに水分を多く含むものが入っている	水分も空気と一緒に吸い込んでしまい、うまくシールができません。保存物の水分をペーパータオルなどでよく吸収させるか冷凍してからご使用ください。
	袋に穴が開いている	袋を新しいものに交換してやり直してください。
	ロールフィルムの片端が確実にシールされていない	もう一度片端をシールし直してください。
	密封スポンジやシールラバーが劣化しキズや損傷などがある	部品を交換してください。
2つのボタンが点滅し続ける	続けてシールや吸引をしている	シールヒーターが高温になっています。15分程休ませてからご使用ください。
空気を抜いた後に再び空気が入ってくる	袋に穴が開いている	袋を新しいものに交換してやり直してください。
	食品が発酵作用を起こしているか、自然のガスを発生させている	食品が発酵する過程でガスを発生させます。必ず冷蔵庫や冷凍庫で保存してください。

長年ご使用の電気製品の点検のお願い

定期的に「安全上のご注意」、「ご使用方法」などを確認してください。長年のご使用などの影響で製品が劣化し、故障や事故につながる場合があります。

こんな症状はありませんか？

- 電源プラグ・コードに損傷が見られる。
- 電源プラグ・コードが異常に熱い。
- コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- 本体が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがする。
- 本体内部から異常な音がする。
- その他異常・故障がある。

ご使用中止！！

故障や事故防止のため、ただちに使用を中止して、電源プラグを抜き、販売店などに点検・修理をご相談ください。

お客様ご自身での修理・分解は大変危険ですので、絶対にしないでください。

アフターサービスについて

修理やお取り扱いのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

1. 製品の保証について

- この説明書には製品の保証書がついています。
保証書は、お買い上げの販売店で「お買い上げ日」「販売店名」などの記入を受け、ご確認の上内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間

- 保証期間中でも有料となる場合がありますので、＜保証規定＞をよくお読みください。
- 当社修理技術者以外の方が分解・修理した場合は、保証対象外となります。

2. 修理を依頼される時

- 「故障かな？と思ったら」をご確認いただいても異常のあるときはご使用を中止し、修理をご依頼ください。
- 保証期間中は、製品に保証書を添えてお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
保証書の記載内容にそって修理いたします。なお、製品修理以外の責任はご容赦ください。
- 保証期間が過ぎているときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
修理によって使用できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

3. アフターサービスについてご不明な場合

- お買い上げの販売店または、下記「ドリテック お客様相談センター」までお問い合わせください。

輸入販売元 **株式会社ドリテック**

〒333-0811 埼玉県川口市戸塚2-11-8 URL : <https://www.dretec.co.jp>

お客様サポート



仕様

品番 / 品名	VS-102 / 真空シーラー「Fresh Plan」		
電 源	AC100V 50/60Hz	消 費 電 力	100W
寸 法	約 幅 37.5× 奥行 7.0× 高さ 6.0cm		
質 量	約 0.7kg	電源コード長	120cm
脱 気 圧	-45 ~ -60kPa	最大シール可能幅	280mm
材 質	ABS 樹脂、AS 樹脂		

●付属品 保存袋

材 質	ナイロン、ポリエチレン
耐 熱 温 度	100℃
耐 冷 温 度	-20℃
寸 法	約 幅22×長さ25cm、厚み約 0.26mm
枚 数	10 枚

キャニスター専用ホース

材 質	PVC
寸 法	約 50cm

- 製品および付属品の仕様は改良などのため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

保証書

本保証書記載内容によりこの製品を保証いたします。

本製品の修理は本保証書をご持参、ご提示の上、お買い上げ店へご相談ください。

品番	VS-102	持込修理
保証期間	お買い上げ日より 1 年間 ※付属品を除く	
お買い上げ日	年 月 日	
お客様	お名前 ご住所 お電話	
販売店*	販売店名 ご住所 お電話	

販売店様へ：* 欄は必ず記入してお渡してください。

〈保証規定〉

- 保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常なご使用状態で故障した場合には本書をご持参、ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。無料で修理、調整いたします。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
 - ※誤ったご使用、不注意、落下、不当な修理、分解、改造、天災、地変等や異常電圧などの外部要因等による故障または損傷。
 - ※ご使用上に生じる外観の変化。
 - ※本書に販売店、およびお買い上げ年月日の記載がない場合、字句を書き換えられた場合。
 - ※本書のご提示がない場合。
 - ※一般家庭以外（例として、商用など）に使用された場合の故障および損傷。
- 有料修理の場合、修理品の運賃、修理部品代、技術料はお客様にてご負担願います。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって、保証書を発行している者およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
- 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- 安全上のご注意を守らないことにより損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いません。

お客様の個人情報の利用目的

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますのでご了承ください。また、法令の定めのある場合を除き、事前の同意をいただくことなく、上記の目的以外には使用いたしません。

修理メモ

--

輸入販売元 株式会社ドリテック
〒333-0811
埼玉県川口市戸塚2-11-8
URL : <https://www.dretec.co.jp>

